

微量採血穿刺器具の不適切な使用について

報道などで問題になっております微量採血穿刺器具を、本学でも下記の授業科目において血糖値あるいは血中乳酸値の測定に際し、複数の学生を対象に使用して指尖から微量採血した事実が判明いたしました。つきましては以下にその器具の使用状況をご報告申し上げます。

穿刺針は一人ひとり、毎回交換しておりましたが、器具先端部はアルコール消毒を実施して器具を共用していました。針の使い廻しはなく、キャップ部分に血液が付着していないことを確認しておりましたので、本件により健康被害をもたらす危険性は極めて低いものと思われませんが、取扱説明書や厚生労働省の通達に違反する不適切な使用法でありました。これらは、すべて教員の指導のもと、授業の一環としておこなわれた行為であり、不適切な指導であったと反省しております。

看護学科学生：平成14年度～平成19年度の成人看護学援助論Ⅱまたは成人看護方法論Ⅱ（3年生または2年生）

理学療法学科：平成11年度、12年度、16～19年度の卒業研究（4年生）

理学療法学科、作業療法学科：平成13年度～平成16年度の生体機能学演習（1年生）

なお、授業とは別に本学で山形県内のスポーツ選手を対象に血中乳酸値あるいは血糖値を測定する際に同様の方法で指尖から微量採血いたしました。針は一人ひとり交換し、キャップに血液が付着していないことを確認しておりましたので、健康被害をもたらす危険性は極めて低いと思われませんが、不適切な使用をしたことに対し深く反省しております。

かかる事態を招き、卒業生および在学生ならびにご家族の皆様、また県内スポーツ関係者にご心配とご迷惑をおかけすることとなりましたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後の対応にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

ご不明の点は、renraku@yachts.ac.jpにお問い合わせください。

微量採血のための穿刺器具とは、血糖値検査などのために指尖などに細い針を1ミリほど刺して微量の血液を採取する器具のことで、製造メーカーによって様々な種類があります。本学で使用していたものは厚生労働省ホームページ掲載の図の③に相当します <http://www.info.pmda.go.jp/iryujiko/file/20080606.pdf>。本学看護学科で使用していた微量採血穿刺器具はマルチランセットⅡおよびマルチランセットS（アークレイ社製）、理学療法学科、作業療法学科で使用していた微量採血穿刺器具は新ユニレッターⅡ（バイエルメディカル社製）です。

この度の厚生労働省の調査では、微量採血器具（針の周辺部がディスポーザブルでないもの）の不適切な使用方法として次の3つが掲げられています。

1. 針を交換せずに複数人に使用すること
2. 針は交換していたが、針の周辺部が使い捨てタイプではない器具を複数人に使用すること
3. 上記1、2の両方を行うこと

本学で確認されたものは、すべて2.に該当するものです。なお、2.の使用法に対して現在まで、山形県内で健康被害の報告はありません。また、国内でも感染が認められた事例はありません。